

自宅での日本語の学習について

木下大輔

2020 年 04 月 01 日

1 宿題を見ていて気づいたこと

1.1 提出用の宿題の書式について

この講義では、宿題について、専用の解答用紙を用意していません。書式は自由です。各自で最良だと思う書式で宿題の答えを準備すればよいです。

しかし、専用の解答用紙の空欄に穴埋めする形での課題や試験に慣れていて、自分で書類を作成しようとする頭が真っ白になって何をどうすればいいのか考えられなくなってしまう人もいます。必須と思われる情報が記入されていない宿題がありました。どんな情報を書き込んだらいいのか、落ち着いて自分でよく考えた上で提出用の宿題を作成し、そして、提出前に内容をもう一度確認した上で、提出すること。

提出用の宿題をコンピュータで作成するなら、全ての情報をファイルに書き込んでから印刷した方がよいでしょう。印刷後に、名前を手書きで書き足して提出している人もいますが、そのようなことをすると必須の情報を書き漏らす危険があります。

1.2 「です・ます」か「だ・である」か

日本語では、文章の最後の部分の違いで、読み手の印象が大きく変わります。文の最後が「です」や「ます」で終わっている文章は、丁寧な印象を与えます。一方、文の最後が「だ」や「である」で終わっている文章は、強めの表現になります。科学の文章では、「です・ます」調の文章でも、「だ・である」調の文章でも、どちらを使っても構いません。ただ、どちらかに統一することが必要です。混ぜて使うのはよくありません。

1.3 助詞や助動詞を省略しないこと

台湾人が日本語を学ぶときに、難しいことの一つは助詞や助動詞の使い方だと思います。助詞や助動詞が省略されて書かれていない宿題がありました。助詞や助動詞の使い方に自信がない人は、日本語の文法の解説書を読み、練習問題に挑戦してみること。

1.4 話し言葉と書き言葉

日本語では、会話で使う表現と、文章を書くときに使う表現が異なることがあります。会話で使う表現は「話し言葉」と言います。書かれた文章で使う表現は「書き言葉」と言います。漫画やアニメで日本語を学んだ人が多いせいか、作文の課題でも話し言葉を使う人がいます。宿題は、紙に書いたものを提出するものです。口頭発表ではありません。宿題を準備するときには、書き言葉を使うようにしましょう。

以下に、最近提出された宿題で見かけた話し言葉とそれに対応する書き言葉を列挙します。

- 「めっちゃ」 → 「とても」
- 「ちゃんと」 → 「きちんと」
- 「すぐく」 → 「とても」
- 「じゃ」 → 「では」
- 「もっと」 → 「更に」
- 「ばっかり」 → 「ばかり」

2 自宅での日本語の学習について

アメリカの大学では、教室で講義を受ける時間の三倍の時間を自宅での学習に当てる必要があるそうです。つまり、週二時間の講義の場合、毎週、その科目について自宅で六時間の学習が必要になるということです。

語学の学習に於いては、頻繁にその言語に触れていることが重要です。毎日、日本語を聞くことが望ましいですが、それが無理でも、毎週二、三回は日本語を聞く習慣をつけると、学期末に日本語会話の上達を実感するでしょう。

因みに、教室でよく発言する人は、皆、教室での授業以外にも、自分なりの学習をしている人たちです。誰でも、どんな分野でもそうですが、能力の高い人たちは、元から能力が高かったわけではありません。努力したから、高い能力を身につけたのです。

2.1 自宅での日本語学習に有用な情報

以下に、自宅での日本語学習に有用な情報を列挙します。

- NHK News Web Easy
 - <https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>
 - 日本人の子供や、日本に住む外国人向けのニュースです。
 - 毎日、数個のニュースが配信されます。10 分ほどで聞き終えることができます。
 - 文章も表示され、また、振り仮名を表示したり消したりする機能もあります。
- NHK ラジオニュース
 - <https://www.nhk.or.jp/radionews/>
 - 通常のラジオニュースです。
 - 再生速度を選ぶことができます。「ふつう」、「ゆっくり」、「はやい」の三種類の速度があります。
- Radiko
 - <http://radiko.jp/>
 - 日本のラジオ局の放送を聞くことができます。
 - ただし、VPN の利用が必要です。使い方が分からない人は、質問に来ること。
- ラジオ番組の podcast
 - ラジオ局によっては、放送済みの番組を MP3 ファイルとして公開している場合があります。
 - 例: Tokyo FM の podcast は <https://www.tfm.co.jp/podcasts/> で利用できます。
- Tver
 - <https://tver.jp/>
 - 日本のテレビ番組を視聴することができます。
 - ただし、VPN の利用が必要です。
- Youtube
 - 最近では、字幕付きの映像も少なくありません。Youtube の映像を見ることも、日本語の学習になるでしょう。

教室での発言がほとんどない人は、自宅でどんな学習をするか考え、実践すること。学期末まで、ずっと教室での発言がないと、成績に影響します。

学生同士で、有用な情報を交換するとよいでしょう。例えば、「Youtube なら、この channel がお薦めだ」や「この podcast の内容が面白い」などです。

2.2 日本語の文法の学習について

以下に、日本語の文法の学習に有用な情報を列挙します。

- NHK の「やさしい日本語」
 - <https://www.nhk.or.jp/lesson/>
 - 教科書が PDF ファイルとして公開されていて、無料でダウンロードして読むことができます。
 - ▷ ただし、中国語は簡体字版しかありません。
 - 音声も MP3 形式のファイルとして公開されています。
- ちびむすドリル
 - <https://happyililac.net/c-japanesegrammar.html>
 - 無料で、文法の練習問題に挑戦することができます。
- 塾チャンネル 19ch.tv
 - <https://19ch.tv/nl/gram.html>
- 東京外国語大学言語モジュール
 - <http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/ja/gmod/>
- 日本語教育通信
 - <https://www.jpfr.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/grammar/backnumber.html>

2.3 文章を読みたい人向けの情報

以下に、日本語の科学に関連する文章を読みたい人向けの情報を列挙します。

- NHK の「読む N スペ」
 - <https://www.nhk.or.jp/special/plus/articles/>
 - NHK の特集番組「NHK スペシャル」の内容を文章で読むことができます。
- JAMSTEC (海洋研究開発機構) の “Blue Earth”
 - <http://www.jamstec.go.jp/j/pr/blueearth/>
 - JAMSTEC が刊行している冊子 “Blue Earth” を無料で読むことができます。
- 理化学研究所の「理研ニュース」
 - <https://www.riken.jp/pr/publications/news/index.html>
- 国立天文台ニュース
 - <https://www.nao.ac.jp/about-naoj/reports/naoj-news/>

また、富士山マガジンサービスを利用すると、一部の雑誌を無料で読むことができます。

- 富士山マガジンサービス: <https://www.fujisan.co.jp/>
「子供の科学」がおすすめです。

3 課題の文章の読み方

課題の文章を読む際には、以下のような読み方をお勧めします。

(a) まず、最初から最後まで一通り読んでみる。

- おおよそどんなことが書かれているのか把握するために全体をまず一回読んでみる。
- この段階で分からないことがあっても構いませんが、分からないことがあったら記録しておくといよいでしょう。だから、ノートを横に置いて、初めて見る言葉や、読み方の分からない漢字、意味の分からない科学用語などがあったら、それらを書き留めておくことを習慣にすると効果的です。
- 重要なことがあったら、それらもノートに書き出しておくといよいでしょう。

(b) 分からなかったことを調べる

- 初めて見た言葉の意味を調べる。
- 読み方を知らない漢字の読みを調べる。
- 意味の分からない科学用語について調べる。
- 初めて見る言い回しについて調べる。
- 調べたことは自分のノートに書き込んでおく。

(c) もう一度読んでみる

- 再び、最初から最後まで読んでみる。
- 二度目に読んでみてまだ分からないことがあれば、それらをノートに書き留めておく。

(d) 分からないことを質問する

- 友人や先生に分からないことを質問してみる。
- 日本語が上手な友達と普段から仲良くしておくとい質問しやすいでしょう。
- 研究室 (科四館 S4-1006) まで来てくれれば、質問を受け付けます。事前に、メールか電話でいつ頃来るのか連絡をください。
- 休日に分からないことが見つかり、すぐに解決したいという人には、skype や LINE などの無料通話アプリでも質問に応じようと思います。そのような希望があれば、連絡をください。ただし、希望通りの時間に対応できるとは限りません。

(e) 分からなかった部分をもう一度読んでみる

- 分からなかったところをもう一度読んできちんと理解できたかどうか確認する。

(f) 理解したことを書き出してみる

- 課題の文章を読んで理解できたことを書き出してみる。
- 全体の話の流れと個々の部分の詳細な内容を考え、それらを整理して、分かったことを書いてみる。

(g) 音読してみる

- 声に出して文章を読んでみる。
- 声に出して読むところを友達に聞いてもらうとなお効果的です。
 - 他の人と集まって一緒に勉強することになると、その時間は確実に学習することになるので、とても有効な方法です。

(h) 関連する文献を読んでみる

- 興味のある内容であれば、課題の文章以外にも関連する文献を探して読んでみる。
- 読んで分かったことは、やはりノートに記録しておく。

(i) 授業のときに質問することを整理する

- 授業時間に教室で質問する事項を書き出しておく。